

3 人のエリヤ

2010 年1月 10 日 アシェル・イントレーター

最新の情報

防衛ミサイルシステム: イスラエル国防軍は今週「鉄のドーム」という防衛ミサイルシステム完成に成功したと発表しました。このシステムは、もしイスラエルを目指してロケットが発射された場合、それがヒズボラ、ハマスあるいはイランであってもすぐさま特定するものです。コンピュータはすぐにロケットがどこに着弾するか分析します。もしそれが、人口が密集していない場所であるならば反応しません。もしコンピュータが、ロケットが人口密集地に着弾することを示すならば、それは対ミサイル・ミサイルを発射し、着弾するロケットを迎撃します。今週このシステムは様々な条件下において実験が行われ、完璧に機能しました。イスラエル国防軍は「鉄のドーム」が実戦配備されるのは今年の年末頃と予定しています。

古代の陶器: ゲルシオン・ガリル博士は今週、聖書時代の調査において重要な発見があったことを発表しました。彼はベット・シェアン地域で紀元前 10 世紀の陶器の破片(幅 16.5cm)を見つけました。陶器の文字はヘブライ語の古代文字でした。これによりヘブライ語文字が古代から存在することを証明し、聖書文書が古代にさかのぼることを証明しています。宗教的ユダヤ人やクリスチャンはすでに聖書文書が古代から存在することを信じていますが、学問の世界では主に否定されてきました。この発見により学界においても聖書の妥当性を裏付けるものとなりました。さらに、それは聖地にユダヤ人が古代から入植していた証拠ともなりました。

ラビ「J」: 最近、クリスチャンの聴衆を前に、エルサレム近郊の「エフラテ」にある正統派ユダヤ教徒入植地のラビ・シュロモ・リスキンが、イエスは正真正銘のラビであり、霊感的な人物であると語りました。この5分間の動画は見る価値があります。

<http://www.news1.co.il/Archive/001-D-225047-00.html?tag=22-03-06> (英語)

スポーツにおける反ユダヤ主義: 今週、世界ランキング 30 位であるイスラエル人女子テニスプレーヤーであるシャハル・ペエルは突然、「イスラエルのアパルトヘイトを終わらせよ」や「ガザでの虐殺を阻止せよーイスラエルを今こそボイコットせよ」といったプラカードをかかげた反ユダヤ主義抗議者の人だかりに直面しました。この残念な偽りは無制限に増大し、イスラエル人スポーツ選手に対して、イスラエル政府や軍の決定とはまったく無関係に生じているようです。この迫害に対するシャハルの尊敬すべき(そして典型的な)イスラエ尔的な反応は、「私に対する抗議が多ければ多いほど、私はより良くプレーする。」これらの抗議にもかかわらず、シャハル・ペエルは今週、ドバイで行われるトーナメントでプレーするためにアラブ首長国連邦からビザが下りました。

テレビ: 主要なイスラエルのテレビ番組でアシェルがインタビューを受ける準備のために、どうかお祈りを続けて下さい。どうか主のご意思のみ行われますように。

教えの記事

3人のエリヤ

イエシュア(イエス)は3人の異なったエリヤについて語られました。

マタイ 17:11-13「イエスは答えて言われた。「エリヤが来て、すべてのことを立て直すのです。しかし、わたしは言います。エリヤはもうすでに来たのです。ところが彼らはエリヤを認めようとせず、彼に対して好き勝手なことをしたのです。人の子もまた、彼らから同じように苦しめられようとしています。そのとき、弟子たちは、イエスがバプテスマのヨハネのことを言われたのだと気づいた。」

最初のエリヤは偉大な預言者で、イエシュアよりも8世紀も前にアハブ王とイゼベル王妃と対決しました。

二番目のエリヤは洗礼者ヨハネで、彼の悔い改めの活動は世界にメシアであるイエシュアの初臨を述べ伝えました。彼はエリヤではなく、エリヤの顕現でもありません。彼は「**彼こそ、エリヤの霊と力で主の前ぶれをし(ルカ 1:17)**」として来ました。ヨハネにはエリヤと似た召命と油注ぎがありましたが、まったく別人です。

三人目のエリヤはまだ現れていません。彼は主の再臨の前に来て、悔い改めだけではなく回復を述べ伝えるのです。

マラキ 4:5-6「見よ。わたしは、主の大いなる恐ろしい日が来る前に、預言者エリヤをあなたがたに遣わす。彼は、父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる。それは、わたしが来て、のろいでこの地を打ち滅ぼさないためだ。」

ヨハネのように、この終わりの時の預言者はエリヤの霊と力を帯びてやってきますが、彼もエリヤ自身ではありません。この3つが組み合わさった活動はエリヤ、ヨハネ、そして終わりの時の預言者だけではなく、多くの預言者たちの活動パターンでもあります。

古代イスラエル人預言者や父祖らの時代に最初の成就がありました。イエシュアと弟子たちの時代に二度目の成就がありました。終わりの時に最後の成就があります。

私たちはこの3つが組み合わさった預言の成就を 1:旧約聖書、2:新約聖書、3:終わりの時と呼ぶことができます。またはこうも呼ぶことができます 1:ヘブライ預言者、2:福音、3:終末。

3つの成就是神殿とも結びつけることができます。

1. 第一神殿(ソロモン王の)
2. 第二神殿(ヘロデ王の)
3. 第三神殿(艱難)

ヘブライ聖書の中の預言の多くに3つが組み合わさった成就があります。それらは歴史的な文脈の中で語られています。預言はイエシュアの初臨の時代にもう一つ成就しました。そして、再臨時に最後の成就になることを見いだせます。イエシュアによって構築されたこのようなパターンを知ることは私たちが混乱するのを防ぎ、新しい契約(訳注:新約聖書)の預言がヘブライ預言とどうつながっているか理解する助けとなるのです。